

# 加東市 地域農業活性化ビジョン

地域資源を活かし、人を活かした力強い農業

概要版



2018(平成30)年度 — 2027(平成39)年度

兵庫県加東市

## ■はじめに

農業・農村をめぐる情勢は、農業就業人口の減少や高齢化の進行、農産物価格の低迷などに伴い、国民の食生活に欠かせない農産物の安定供給をはじめ、自然環境の保全や、農業・農村の有する多面的機能の低下が懸念されるなど、様々な課題が生じています。そのため、これらの社会情勢の変化に対応した農業施策が必要となっています。

加東市（以下「本市」という。）においても、本市の農業と農業を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域農業の特色を最大限に活かし、豊かで魅力ある農業・農村の振興に向けて取り組む必要があります。

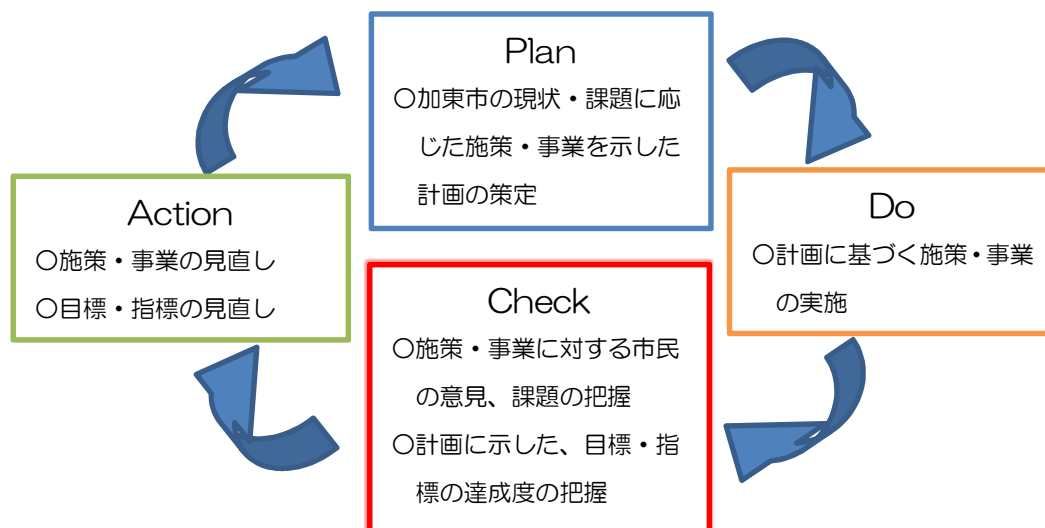
加東市地域農業活性化ビジョン（以下「本計画」という。）は、行政、市民、関係団体が共に目指す本市農業の将来像を示した計画です。

## ■計画期間

計画期間は、第2次加東市総合計画（以下「総合計画」という。）の計画期間に合わせ、2018（平成30）年度から2027（平成39）年度までの10年間とし、本計画では、P（Plan：計画）D（Do：実施）C（Check：検証）A（Action：改善・見直し）サイクルによって、進行管理を行います。農業を取り巻く環境の変化によって生じる、計画の成果と実際の進行状況とのずれを正確に把握し、計画期間における「前期」「中期」「後期」ごとに変更や見直しを必要に応じて行い、成果と進行状況のずれを最小限におさえて、本市の実情に沿った計画を目指します。

計画期間（年度）	2018年 (H30)	2019年 (H31)	2020年 (H32)	2021年 (H33)	2022年 (H34)	2023年 (H35)	2024年 (H36)	2025年 (H37)	2026年 (H38)	2027年 (H39)
総合計画基本構想	計画期間									
総合計画基本計画	前期					後期				
地域農業活性化ビジョン	前期		中期			後期				

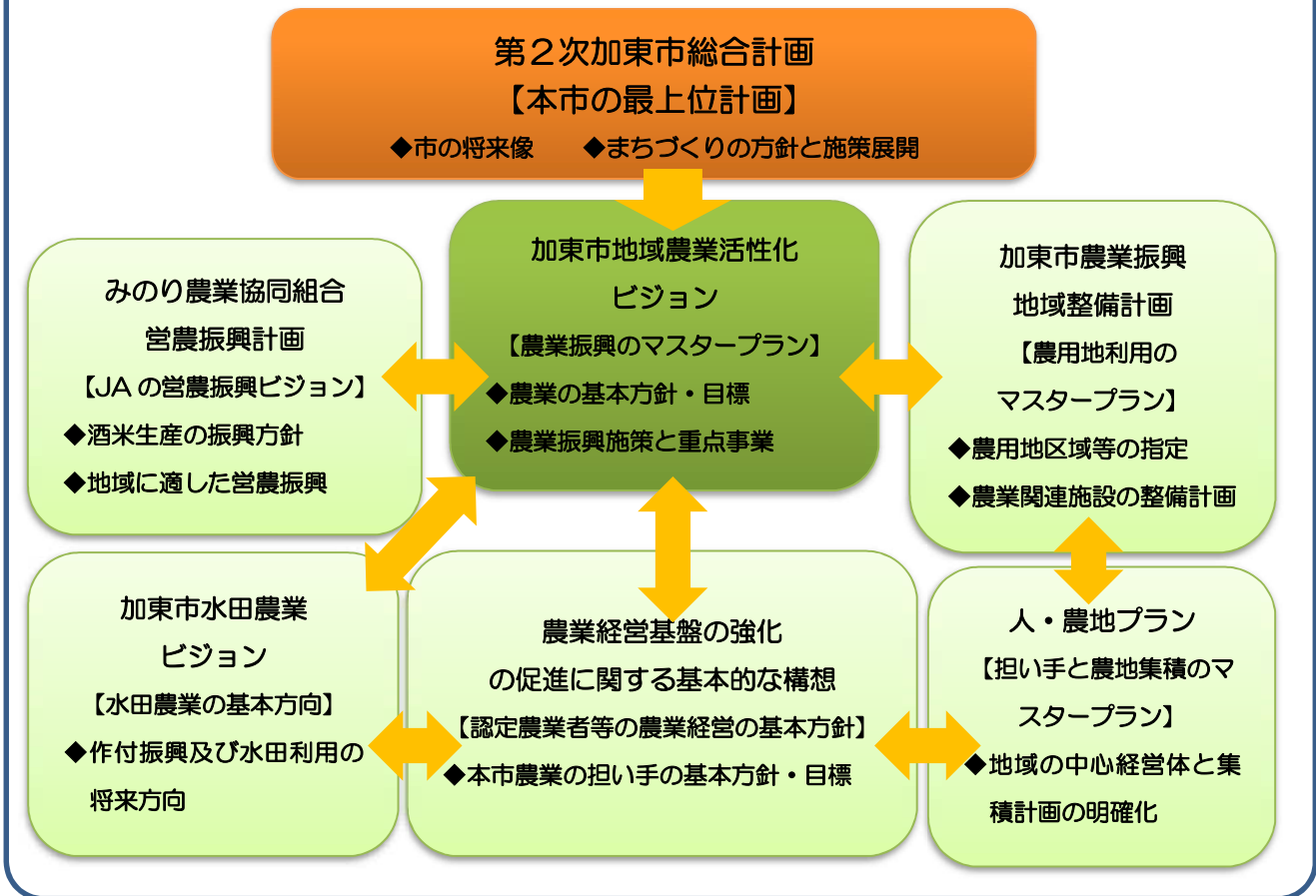
PDCAサイクルによる計画推進のイメージ



## ■計画の位置付け

本計画は、総合計画の下位に位置付け、かつ、農業分野の最上位に位置する本市の農業振興のマスタープランとしています。

また、加東市農業振興地域整備計画や人・農地プランといった他の農業関連計画は、本計画の推進に関する指針やアクションプランとして位置付けています。



## ■本市がめざすべき将来の農業活性化ビジョン

本市農業に関連する分野を「農政」「農業生産環境」「農産物」の3つに分け、それぞれの「めざすべき将来像」を示し、地域が一体となり、農業の維持、継続、発展のために本計画がめざすべきビジョンを以下のとおり掲げます。

### 本市がめざすべき将来の農業活性化ビジョン

**地域資源を活かし、人を活かした力強い農業**

このビジョンのもと、豊かで活力のある地域づくりを進め、地域の特色を活かした農業、環境の変化に対応できる力強い農業を目指します。

## ■本市農業の現状と課題

### 農政分野

担い手確保、経営体支援、経営安定対策、水田活用、農地の集約化など、農政全般に関する分野

- 兵庫県産米の作付け拡大と、酒造好適米（山田錦）の高い需給バランスの維持といった好条件がある一方、全国的な米価の下落と、農薬等の生産資材の価格上昇及び輸入農産物や他産地との価格競争により、農業所得が伸び悩んでいます。
- 農村の高齢化などに伴う耕作放棄地の拡大が進んでおり、農業の担い手確保が喫緊の課題となっています。

### 農業生産環境分野

ほ場、ため池、水路等の農業生産基盤施設や獣害対策など、農業生産環境に関する分野

- 多面的機能支払交付金事業で農業用施設の保全管理を実施していますが、離農者の増加により、地域による農業用施設の維持管理の負担が増加しています。
- 猟友会との連携による捕獲活動、補助事業を活用した侵入防護柵の設置など、農作物被害対策に取り組んでいますが、被害の拡大により、営農意欲の低下による離農者の増加が課題となっています。

### 農産物分野

特産作物の振興、新規作物の導入、栽培指導、市内産農産物を活かした取組など、農産物に関する分野

- 山田錦を中心とした酒造好適米は、村米制度による契約栽培などで、安定した作付けが行われていますが、更なるブランド化と、山田錦以外の特産物の開発、山田錦特A地区以外での振興作物の生産が課題となっています。
- 近年の和食、健康食ブーム、地産地消の推進により、直売所の売り上げと、学校給食で使用する地元農産物の使用割合は増加していますが、消費者のニーズに応じた農産物の作付けが課題となっています。

## ■施策体系

分野	基本施策	施策内容
農政分野	農業の担い手育成※前期重点取組	地域の担い手の育成
		新たな就農者の育成
		人・農地プラン作成の推進及び担い手の明確化
	農地の流動化と集約化の推進	担い手への農地の集約
		農業用施設の管理体制の構築
	耕作放棄地増加の抑制	耕作放棄地発生抑制
		農地の適正管理の推進
	農業経営基盤の強化	設備投資と経営の合理化等による経営基盤の強化
		多様な経営体の育成
経営所得安定対策等による農業所得の安定化と向上		
農業生産環境分野	農業生産環境の整備	農業用施設の維持と保全管理
		防災減災対策の推進
		基盤整備の促進
	鳥獣被害対策の推進※前期重点取組	有害鳥獣侵入防護対策の推進
		有害鳥獣捕獲対策の推進
		鳥獣被害に強い集落づくり
農産物分野	加東市産山田錦のブランド力の向上	加東市産山田錦のPR
	効率的な作付体系の確立と酒造好適米の生産拡大	生産環境に合わせた適地適作
		酒造好適米の需要及び生産拡大
	農産物のブランド化と生産拡大	営農部会の活性化
		ブランド化と6次産業化の推進
	地産地消の推進※前期重点取組	直売所と学校給食による地産地消の推進
		事業者と連携した販路拡大
		食育の推進





## ■各分野のめざすべき将来像

### 農政分野



特産である加東市産山田錦のブランド力の高まりによって、生産調整が見直されても高値で取引され、集約化された農地では、多様で競争力の高い経営体が効率的な農業生産を行い、農業所得が向上しています。

水田で生産された新鮮で安心な野菜が農産物直売所で販売され、新たに導入された作物がブランド化して、神戸や大阪の市場に出荷されています。

所得が向上し、活性化した農業のおかげで耕作放棄地も増えず、農村も元気です。

### 農業生産環境分野



ため池や水路のネットワークを地域全体の財産として、農業者だけでなく市民全体で守り伝えようとする意識が高まり、非農家も参加して、積極的な保全活動が行われることで、生産基盤施設の機能が維持されています。

有害鳥獣の被害が減少して営農意欲も高まり、担い手となる地域の中心経営体に集約された優良な農地で、効率の良い農業生産が行われています。

基幹水利施設も計画的に更新、耐震化が進み、ゲリラ豪雨の際にも安心です。

### 農産物分野



加東市産山田錦の品質向上の取組が全国の蔵元に評価され、加東市産酒米のブランド力が高まっています。

直売所には、いつも新鮮で魅力的な農産物が並び、本市オリジナル認証ブランドの農産物や加工品が市民や観光客に飛ぶように売れており、神戸や大阪にも販売されています。

和食を取り入れ、市内産の農産物で作る学校給食を食べる子どもたちは、健康で元気いっぱいです。家庭でも、地元産の農産物を使った和食が増え、食や「農」への関心が高まり、望ましい食生活により、健康な市民が増えています。

## ■推進体制

本計画で定めた本市がめざすべき将来の農業活性化ビジョンの実現には、農業者・営農団体・行政・関係機関などの各実施主体が、それぞれの役割を認識し、一体となり協力・連携していくことが重要です。本計画の推進体制や主な役割は次のとおりとします。



## 各主体の主な役割





たきのなす



やしろのもも



東条山の芋



山田錦

発行日：2018(平成30)年3月  
発行：加東市地域創造部農林課  
〒673-1493  
兵庫県加東市社 50 番地  
電話：0795-43-0518  
URL：<http://www.city.kato.lg.jp>

